

建築工事基本設計業務委託仕様書

本仕様書は、高砂市が委託する建築工事基本設計業務を行うにあたって必要な事項等を示したものであり、建築工事基本設計業務の執行は、本仕様書、公共建築設計業務委託共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による。

I. 一般事項

(1) 業務の概要

別紙建築工事設計業務委託要領書による。

(2) 業務の範囲

別紙建築工事設計業務委託要領書による。

(3) 打合せ及び記録

原則として、下記の時期に打合せを行う。尚、打合せ事項を覚書（A 4 版）として提出すること。

- ① 契約直後（工事概要・現場・参考図面・設計要領の確認）
- ② 基本計画着手時（設定条件の把握）
- ③ 基本計画時（関係部署との調整、確認等）
- ④ 基本計画完了時（基本計画案の絞込み、設計基本方針の設定）
- ⑤ 基本設計着手時（基本計画案承認後）
- ⑥ 基本設計時（建築意匠、構造計画等、進捗状況に応じ随時）
- ⑦ 設備計画時（電気、機械設備等、進捗状況に応じ随時）
- ⑧ ライフサイクルコスト検討時
- ⑨ 基本設計完了時（設定条件、基本計画内容との照合、概算工事費の算出）
- ⑩ その他打合せを必要とするとき

打合せ事項は「打合せ覚書」（様式 1）に記録し、業務完了後、原紙及び製本 1 部を提出する。尚「打合せ覚書」は委託者側担当職員（以下「担当員」という）の同意を得て様式 1 以外によることができる。

II. 業務内容

(1) 情報収集・準備

- ① 設定条件の把握
- ② 現地調査
 - ・ 現地状況調査
 - ・ 近隣環境調査
 - ・ 電力、電話、給水、ガス等の関連施設調査
- ③ 関係法令の調査
- ④ 類似事例の調査他

別紙 2 - 1

(2) 条件設定及び設計方針の設定

- ① 要求性能の確定
- ② 目的性能(建築条件)の把握
- ③ 設計理念の確立
- ④ 安全性能の設定
- ⑤ 法令その他の制約条件の整理
- ⑥ 仕様及び必要設備の設定
- ⑦ 工事予算の設定

(3) 比較検討

- ① 性能面からの機能の検討
- ② 設計理念上又は意匠上の検討
- ③ 交通アクセスの検討
- ④ 周辺環境への影響の検討
(日影等)
- ⑤ 構造種別、方式等の検討
- ⑥ 計画実現の為の工事費の検討
- ⑦ 仕様、使用材料、構造方式、
設備方式等の総合的検討
- ⑧ 省エネルギーほか環境方針の
検討
- ⑨ 設備方式の基本方針の検討
- ⑩ 維持管理上の問題点の検討
- ⑪ ライフサイクルコストの検討

(4) 総合化

- ① 機能配置計画の策定
- ② 動線計画の策定
- ③ 防災計画の策定
- ④ 構造計画の策定
- ⑤ 各種電気設備計画の策定
- ⑥ 機械設備計画の策定
- ⑦ 工事費配分計画の策定
- ⑧ 維持保全計画の策定

III. 提出書類

(1) 事務手続書類

(契約時)

委託業務着手届、会社経歴書、設計業務担当者届、設計業務協力事務所承諾願、業務計画書、計画日程表、内訳明細書等担当員の求める書類を速やかに提出すること。

(業務完了時)

委託業務完了届、委託業務提出図書、納品書、請求書

IV. 成果品

- (1) 本件建築基本設計業務に伴う成果品は別紙提出図書一覧による。
- (2) 成果品には、特定の製品名、製造所名又はこれらが推定されるような記載をしてはならない。ただし、これにより難い場合は、あらかじめ担当員と協議し、承諾を得なければならない。
- (3) 受託者は、仕様書に規定がある場合又は担当員が指示し、これに同意した場合は、履行期間中においても、成果品の部分引渡しを行わなければならない。
- (4) 引渡し前における成果品の全部又は一部の使用を当市が求めた場合には、使用同意書を提出するものとする。

別紙 2 - 1

[基本計画図書]

- ・ 敷地利用計画（法的条件、配置計画、動線計画、設備計画）
- ・ 建物構成（全体階構成、基準階計画、基本的な空間構成）
- ・ 建物規模（延床面積、有効面積、基準階面積）
- ・ 構造方式（比較検討）
- ・ 設備方式（比較検討）
- ・ 外観および主要内部デザインイメージ
- ・ 内外装仕様グレード、保全計画検討含む
- ・ 粗概算見積書、全体工程表（設計期間、法的手順、施工工期）

[基本設計図書]

(ア) 建築意匠関係

- | | |
|------------|--------------|
| ① 仕様概要書 | ⑧ 立面図（各面） |
| ② 仕上表 | ⑨ 矩計図（主要部詳細） |
| ③ 面積表及び求積図 | ⑩ 設計説明書 |
| ④ 附近見取図 | ⑪ 工事費概算書 |
| ⑤ 配置図 | ⑫ 各種技術資料 |
| ⑥ 平面図（各階） | ⑬ 日影図 |
| ⑦ 断面図 | |

(イ) 建築構造関係

- | | |
|-----------|----------|
| ① 基本構造計画案 | ④ 工事費概算書 |
| ② 構造計画概要 | ⑤ 各種技術資料 |
| ③ 仕様概要 | |

(ウ) 電気設備関係

- | | |
|------------|----------|
| ① 電気設備計画概要 | ③ 工事費概算書 |
| ② 仕様概要書 | ④ 各種技術資料 |

(エ) 機械設備関係

- | | |
|---------------|----------|
| ① 空気調和設備計画概要 | ④ 仕様概要書 |
| ② 給排水衛生設備計画概要 | ⑤ 工事費概算書 |
| ③ 昇降機設備計画概要 | ⑥ 各種技術資料 |

(オ) ライフサイクルコスト検討書

(カ) 全体工程表

V. 検査

- (1) 受託者は、設計業務が完了したとき、部分払いを請求しようとするとき及び部分引渡しの指定部分に係る業務が完了したときは、検査を受けなければならない。
- (2) 受託者は、検査を受ける場合には、あらかじめ成果品を整備し担当員の確認を受け、成果品の全てを写真撮影の上、納品書を添付すること。

別紙 2 - 1

VI. その他留意事項

- (1) 受託者は、基本設計に先立ち基本計画図書を作成し、市の承認を得ること。
- (2) 基本設計に当たっては、当市の承認した基本計画図書に基づき作成すること。

別紙提出図書一覧

●基本設計業務に伴う提出図書一覧				
提出図書	サイズ	部数	提出形式	適 要
基本計画図書	A 4	5 部	ファイル	図面は2つ折、計画概要を簡潔にまとめること。
基本設計図（原図）	A 3	1 部	図面ケース	J WW形式※ 電子データ（CD-ROM）共
基本設計図書（原稿）	A 4	1 部	ファイル	図面は2つ折、製本原稿を綴ること。 PDF 形式 電子データ（CD-ROM）共
基本設計図書（製本）	A 4	5 部	製本	表紙、背表紙文字入れ共
完成予想図	A 3	3 部	額入り	彩色仕上げとし、構図詳細は担当員と協議により決定する。
構造計算資料	A 4	2 部	ファイル	出力データ原稿を綴ること。
什器・備品リスト	A 4	2 部	ファイル	Excel 形式 電子データ（CD-ROM）共 項目毎に採用カタログの名称及び記載頁等を表示する。
什器・備品カタログ	A 4	2 部	ファイル	分界紙・付箋・一覧表等でわかりやすく表示する。カタログ該当部分を複写し整理すること。
工事概略工程表	A 3	2 部	ファイル	Excel 形式 電子データ（CD-ROM）共
打合せ覚書	A 4	2 部	ファイル	Word 形式 電子データ（CD-ROM）共

※図面電子データについては、J WW形式を基本とする。それ以外の形式（DWG 形式等）については、変換ソフト等を使用し J WW形式に直すこと。尚、他の形式から J WW形式に変換した場合は、元データと比較し文字や線種、縮尺等に誤りがないことを確認すること。

また、電子データ提出に際しては、元データ形式（DWG 形式等）と J WW形式を合わせて提出し、元データ形式を保存した CD-ROM には、コンピューターにソフトをインストールすることなく図面データが閲覧できるよう、閲覧ソフト（DWG True View 等）を添付すること。

※ファイルとは背巾伸縮ファイルにて整理し、提出することを示す。